



土屋 武雄 議員

質問 畜産クラスター事業の農家が使いやすい仕組みは

町長 中山間地域における優先配分枠の設定を有効活用する

質問 町内の畜産農家で施設、機械の整備を希望する場合に、ハードル緩和策、町独自の優先枠はないか。

町長 施設整備の要件としては、地域の平均規模以上への規模拡大、または生産効率向上による畜産物の増加と、要件が現在定められている。質問にある町独自に要件の緩和策を講じることや拡大すること、また町独自の優先枠の活用をすることはできない。しかし、事業の中に中山間地域における優先配分枠の設定などがあるので、こちらを有効に活用していく考えだ。

質問 枠取りを優先的に考えるとのことだが、繁殖雌牛の分

娩間隔の短縮、牛の事故回数減、仔牛出荷頭数増、一頭当りの生産乳量増と言った実績に対して評価し、奨励賞のような支援策が創設できないか。

町長 畜産農家にとっては、一年一産と連産は経営上、大変重要な要素だ。全国和牛登録協会では、連産牛表彰規程に基づき、酪農経営での乳量、乳質には、町酪農組合で乳質奨励表彰要領に基づき達成者をそれぞれ表彰している。町として評価表彰の支援策は現在のところない。

再質問 施設整備あるいは新しい機械導入の費用の支援について、決まった制度の補助の上に、町単独の上乗せ補助がで

きないか。

町長 現在、畜産、酪農に限らず、水稲や園芸の振興のために、国、県の補助事業を農家の皆様に活用していただいている。こうした中、今後この事業による機械、施設整備の規模や事業費は未定だが、現時点では町独自の上乗せ補助は想定し

ていない。

次回全共のための対策と優良牛の導入確保について

質問 成績挽回の対策や町内に確保すべきと認めた良好な育種価の高い牛が商いされる時、支援策はないか。

町長 飼養マニュアルの検証と、県やJA等が行う和牛飼養研修が大切だ。また、家畜商や非営利法人であるJAの職員などにより、売り手、買い手の斡旋価格の仲介で解決すべきだ。その際「肉用牛優良繁殖基礎雌牛保留対策事業」の活用を奨める。



三成で3月に実施された研修会



育種価の高い優良牛の確保が望まれる